# Dental XRの概要 - 使う前に



### Dental XR活用イメージ

患者情報から検査入力に移り、撮影した画像を取り込 んだら、患者さんへの説明用に画像を編集したり並べ 替えをして、診断書と一緒に印刷することができます



### DXR InPut(検査入力):検査データを入力

ムシ歯・ポケット・Saliva・プラーク・動揺度・リセッション・分岐部病変 ・問診・診断 結果等の検査項目また、治療計画やリスク統計の入力をします



#### DXR OutPut (資料の出力) :患者さんに資料を提供

検査データが反映された診断書や、DX\_Finderのコンテンツを印刷して患者さんに提供する ことができます



### DXR TaKe(画像管理):画像の管理

iPadやMacの指定フォルダから取り込んだ画像は、日付ごとに整理して比較したり症例を 作成することができ、OutPutアプリにて画像を用いた説明に活用することができます



# **DXR InPutの概要**



Dental XRの中でのDXR InPutの役割は、患者さんの検査データの入力と管理です 作成した検査データは日付ごとに一覧表示されます リスクや治療計画の入力もDXR InPutアプリで行うことができます



入力した検査データをもとに、 診断書等の資料を一度に印刷す ることができます (別途自動印刷の設定が必要)



「診断書」をタップすると、DXR OutPutアプリに移動して、印刷を行います

DXR InPutの活用ガイドをご覧になる場合は 右のタイトルをタップしてください→ DXR InPut活用ガイドはこちら 🌾

# **DXR OutPutの概要**



Dental XRの中でのDXR OutPutの役割は、診断書の出力と説明資料の作成です DXR InPutで入力した患者さんの検査データやDXR TaKeの画像データをもとに、 診断書やその他の資料をお渡しできるように印刷したり、患者さんに向けて説明を することができます



#### Quick Look画面 検査/画像の説明



選択したイメージを4つまで自由に組み合わせて 表示することができます。

イメージにはペンで描画することができ、書き出 しメニューからtoGo画面へ送って印刷したり、 TaKeアプリに画像として書き出すことができます



※1【Docs】はサブカルテ、院内メモなど、紙で管理していた書類をデジタル化して患者さんごとに保存しておけるドキュメントの保管機能です ※Docsのご利用には別途お申し込みが必要です >>> 詳細はHPをご覧ください

DXR OutPutの活用ガイドをご覧になる場合は 右のタイトルをタップしてください→ DXR OutPut活用ガイドはこちら 🌾

### **DXR TaKeの概要**



Dental XRの中でのDXR TaKeの役割は、患者さんの画像データの管理です ライブラリに取り込んだ画像を、口腔内写真やデンタル写真に分けて日付ごとに整理 したり、症例の作成をすることができます

OutPutアプリで画像を編集してライブラリに取り込むこともできます



整理/デンタルの仕分けをする際に便利な自動登録機能があります(整理は最大12枚/デンタルは18枚) 症例は、医院オリジナルの症例集を作成し、データベースとして保存することができます

> DXR TaKeの活用ガイドをご覧になる場合は 右のタイトルをタップしてください→

DXR TaKe活用ガイドはこちら